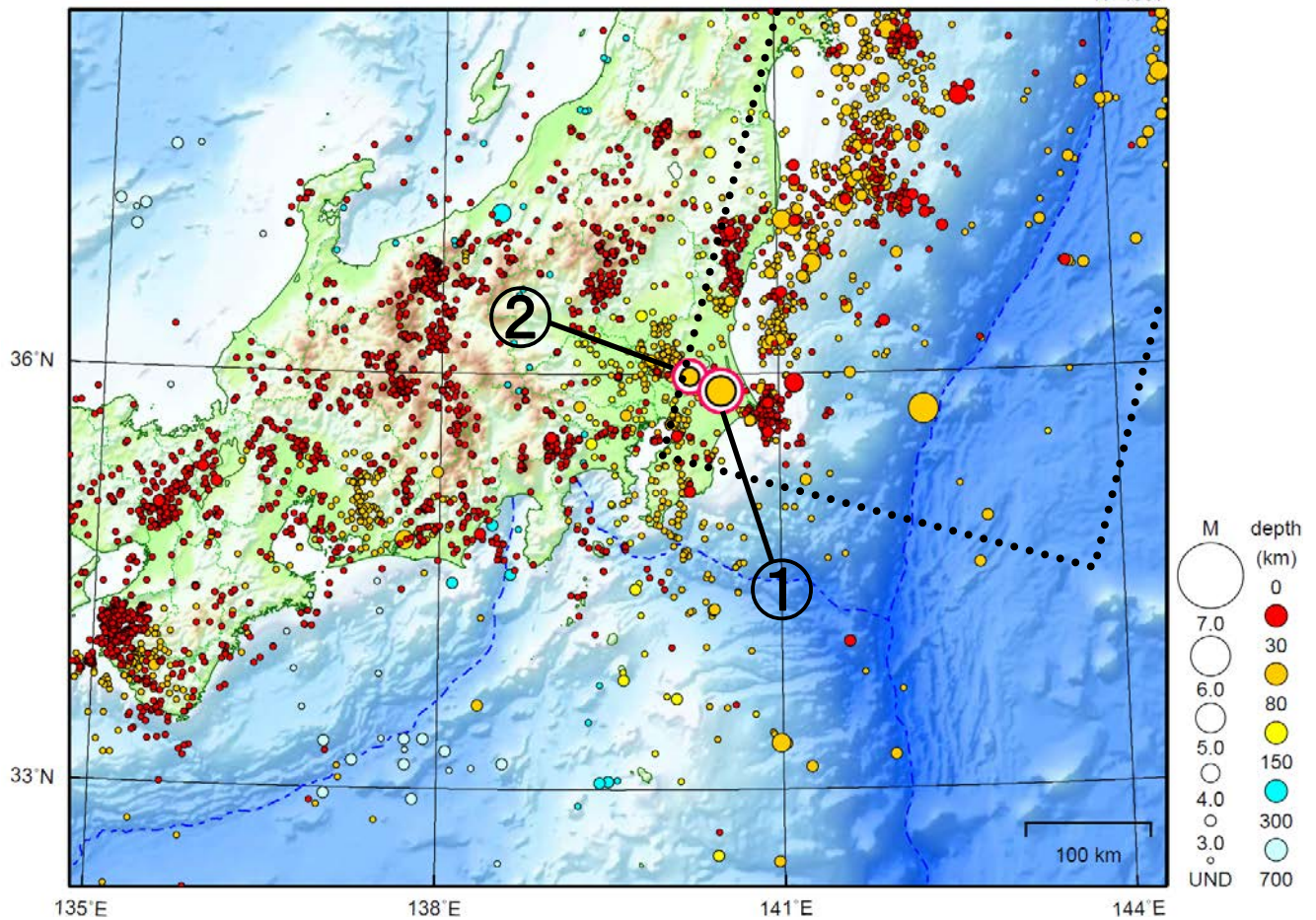


関東・中部地方

2015/01/01 00:00 ~ 2015/01/31 24:00

N=4897



※ 点線は「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震域を表す

地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 1月26日に千葉県北東部で M5.0 の地震（最大震度 4）が発生した。
- ② 1月30日に茨城県南部で M4.8 の地震（最大震度 3）が発生した。

（上記期間外）

- ・ 2月1日に富山湾^{*}で M4.4 の地震（最大震度 4）が発生した。

※情報発表に用いた震央地名は〔石川県能登地方〕である

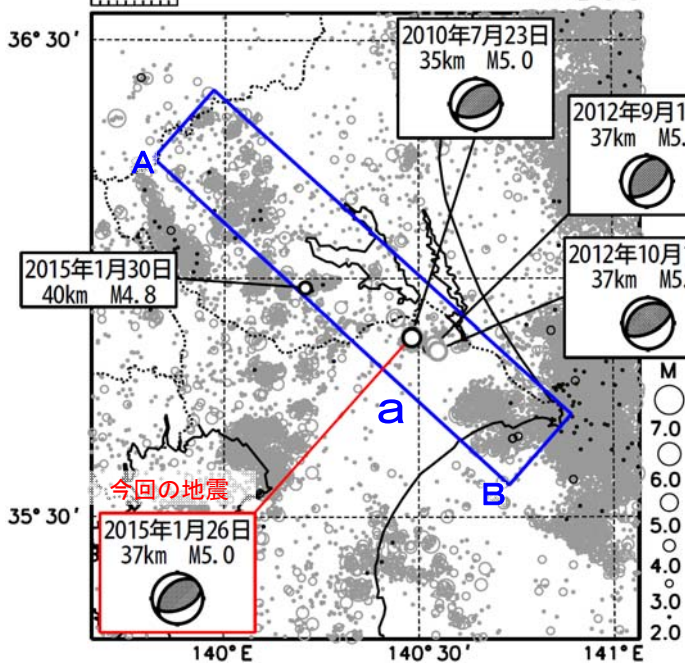
[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

1月26日 千葉県北東部の地震

震央分布図

(2002年10月1日～2015年1月31日、
深さ0～100km、M \geq 2.0)

2015年1月の地震を濃く表示 N=24578



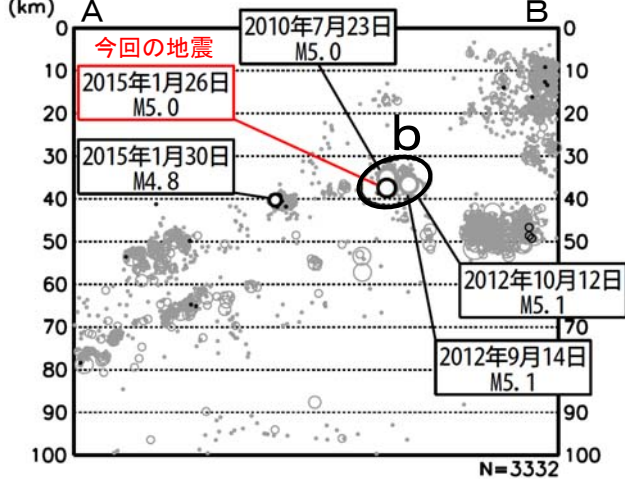
2015年1月26日07時20分に千葉県北東部の深さ37kmでM5.0の地震(最大震度4)が発生した。この地震は、発震機構が北北西-南南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

また、07時21分には、ほぼ同じ場所でM4.2の地震(最大震度3)が発生した。27日以降、余震活動は低調である。

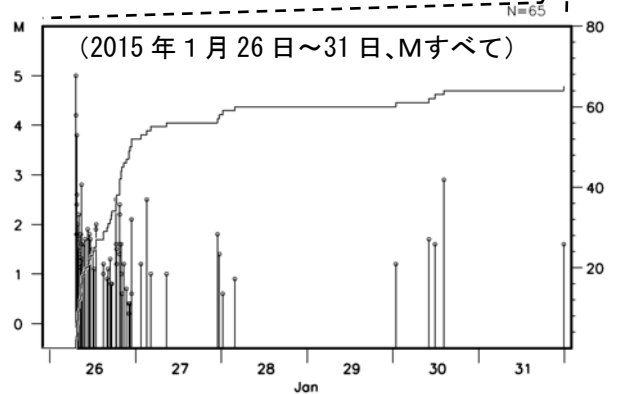
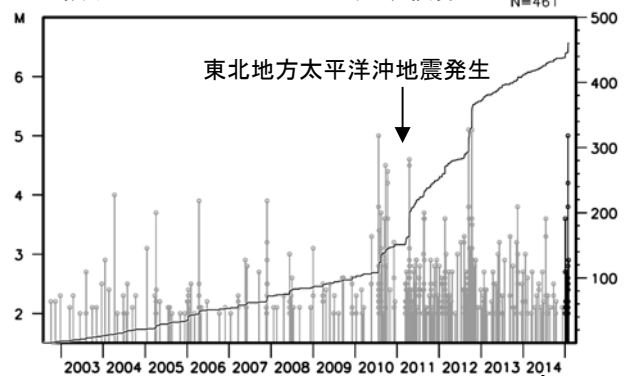
2002年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)では、2010年7月23日にM5.0の地震(最大震度5弱)が発生し、同年12月頃まで地震活動がみられた。また、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」発生以降、地震活動が以前より活発になっており、2012年9月14日、10月12日にはM5.1の地震(最大震度4)が発生している。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M6.0程度の地震が時々発生している。

領域a内の断面図(A-B投影)



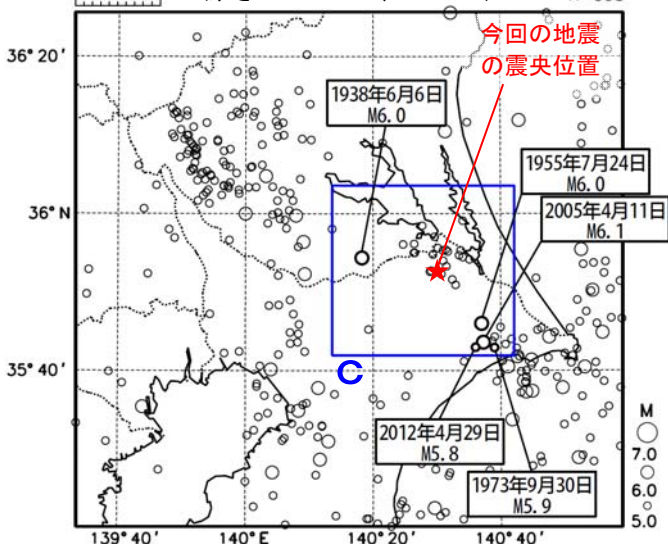
領域b内のM-T図及び回数積算図



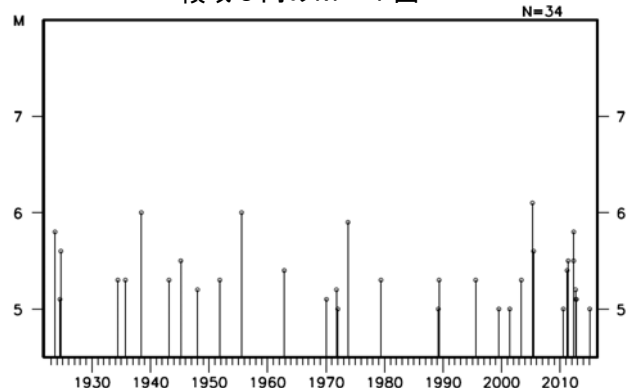
震央分布図

(1923年1月1日～2015年1月31日、
深さ0～100km、M \geq 5.0)

N=338



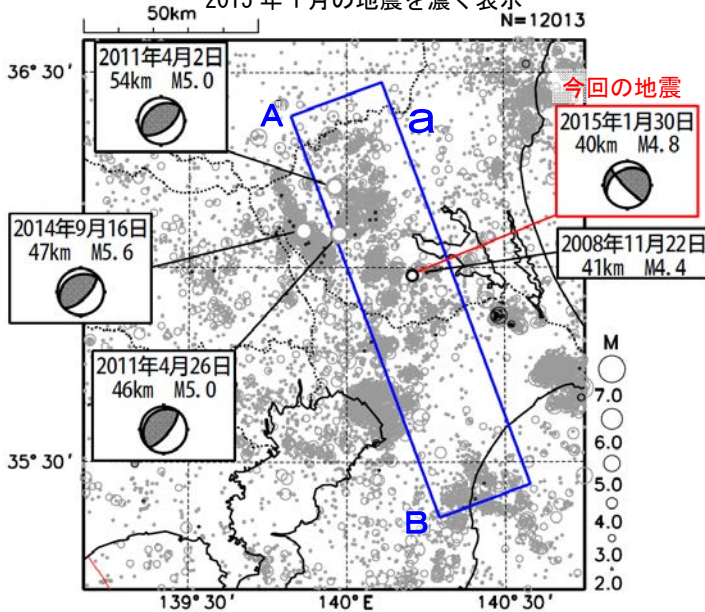
領域c内のM-T図



1月30日 茨城県南部の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2015年1月31日、
深さ0～120km、 $M \geq 2.0$)
2015年1月の地震を濃く表示

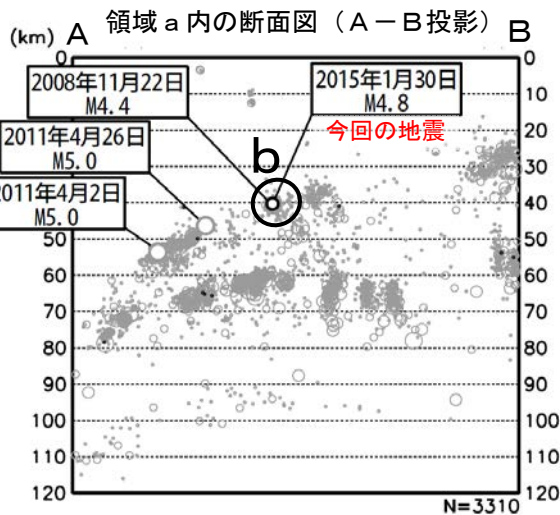


2015年1月30日20時31分に茨城県南部の深さ40km (フィリピン海プレートと陸のプレートの境界付近) でM4.8の地震 (最大震度3) が発生した。発震機構は、北北東-南南西方向に圧力軸を持つ型である。この地震の後、20時33分に発生したM3.0の地震 (最大震度1) をはじめ、小規模な地震がややまとまって発生した。

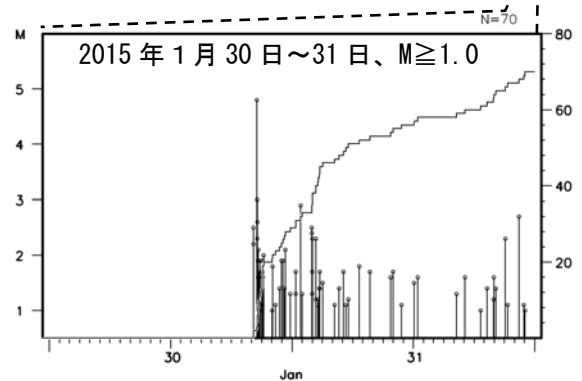
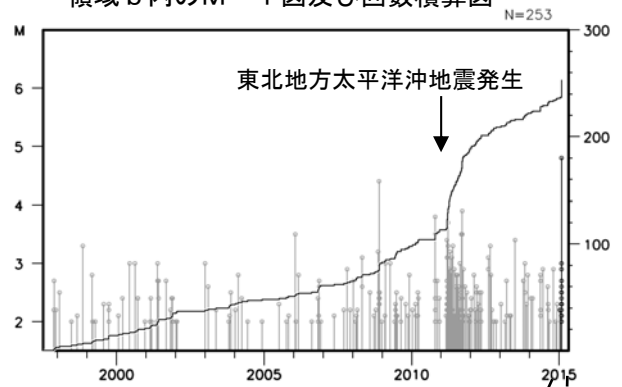
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、2008年11月22日に発生したM4.4の地震 (最大震度3) のほかは、M4.0を超える地震は発生していない。

なお、この領域では、「平成23年 (2011年) 東北地方太平洋沖地震」発生以降、2012年にかけて、以前より地震活動が活発となった。

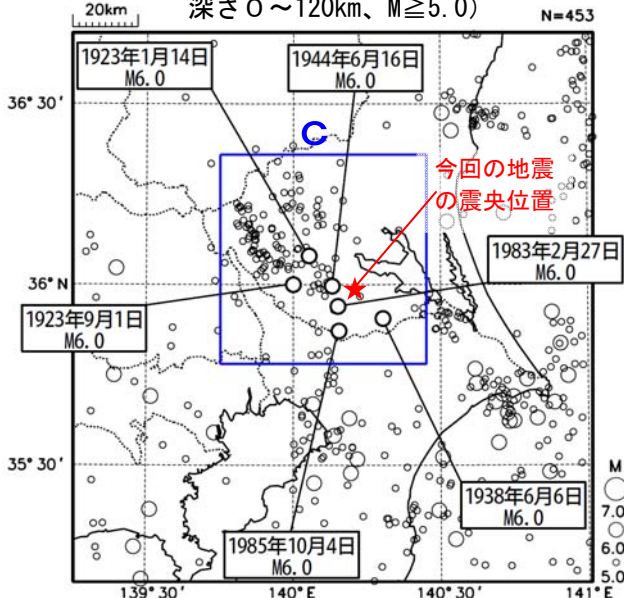
1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、M6.0程度の地震が時々発生している。



領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図
(1923年1月1日～2015年1月31日、
深さ0～120km、 $M \geq 5.0$)



領域c内のM-T図

